



英語コミュニケーション再開

LSOでは本学附属図書館北図書館の協力を得て、5月9日から7月25日までの期間、本学学生向けの少人数形式の英語学習サポート「英語コミュニケーション」を実施しました。この「英語コミュニケーション」は、英語が堪能な留学生チューターを囲み気楽に会話を楽しみながら、英語を使ってコミュニケーションを取る力を伸ばすことを目的としており、今学期は、LSOでTAとして勤務する文学研究院博士課程の呉憂さんと同修士課程の江刺佳紘さんに企画・運営を担当して頂きました。今学期は北図書館西棟3階グローバルフロア(第1～3回)、北図書館西棟2階セミナールーム(第4～10回)、高等教育推進機構N234室(第11・12回)を会場とし、各回定員15名で週1回木曜日16:30～17:30の1時間、計12回開催しました。各回のテーマは次の通りです。

- 第1回(5/9): Self Introduction: Two Truths One Lie
- 第2回(5/16): How do you spend your university life?
- 第3回(5/23): From Freshmen to Graduate Students
- 第4回(5/30): What Is Your Favorite Book
- 第5回(6/6): How Do Languages Make Us Who We Are
- 第6回(6/13): Language Learning
- 第7回(6/20): What Happened 100 Years Ago?
- 第8回(6/27): What Will Happen 100 Years Later?
- 第9回(7/4): Diversity
- 第10回(7/11): What Do You Want to Be?
- 第11回(7/18): Is There Anything Definitely Right?
- 第12回(7/25): Self-Experience and Self-Expression

各回の活動報告はLSOウェブサイト内の「英語コミュニケーション」ページに掲載されています[<https://lso.high.hokudai.ac.jp/report>]。今学期はのべ95名の参加があり、過去最高とな



英語コミュニケーションの様子 2019年5月23日撮影

りました。参加者のうち1年生が35%、2年生以上の学部生が37.5%、大学院生が27.5%でした(実人数における割合)。参加者へのアンケートの結果では、全員が「役に立った」「少し役に立った」と回答しており好評を得ることができました。難易度については「ちょうど良かった」と答えた回答が最も多く、「少し難しかった」との回答が続きました。他の参加者の英語力に驚いたり、実際に話してみると単語が出てこないことにもどかしさを感じたりと、参加者の皆さんには程よい刺激となったようです。「英語コミュニケーション」は今年度2学期も下記要領で開催する予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

期間: 10月17日～1月30日の毎週木曜16:30～17:30

場所: 北図書館西棟3階グローバルフロア(第1～3回)、2階セミナールーム(第4回～)

参加方法: LSOウェブサイト内「英語コミュニケーション」ページ[<https://lso.high.hokudai.ac.jp/en>]のフォームから参加登録 (立花優)

スタッフの心象 第22回「スタッフの妄想」

このコーナーではLSOに寄せられる進路・修学・学習相談の内容を元に、相談現場の様子をお伝えします。

ある日、私の妄想の中で、総合入試で入学した二人の北大一年生が会話していました。

A「後期の授業どうする?」
B「○○○とか×××をとるつもり。」
A「へー。○○○や×××に興味があったのか。意外だな。」
B「いや、別に興味はないよ。ただ、○○○と×××は良い成績がとりやすいらしいから。」
A「ふーん。△△△はとらないの?」
B「△△△は内容が難しいらしいからな。とらなくても学科移行や卒業要件は何とかなるし、移行点が下がるリスクを背負ってまで受けることもないだろ。」
A「でも△△△の内容は学科に移った後でも使うらしいよ。」
B「そうかもしれないけど、俺は絶対に第一希望の学科に行きたいんだ。」
A「うーん。せっかく総合入試で入ったんだから、自分の興味のある授業や希望する学科に関連する授業をとるべきじゃないか? とるべき授業をとらなかったら、学科に入っても授業についていけないかもしれないじゃないか。」

B「きれいごとと言えばそうだろうけど、それで移行点下って希望学科に行けなかったらどうするんだよ? 本末転倒じゃないか。それに本当に必要なら自分で勉強すれば良いし。」
A「本当に自分だけでやれるのか? さっき内容が難しいって自分で言っていたじゃないか。」
B「なんだよ、さっきから。喧嘩売ってんのか?」
A「別に。ただ、大学入ったのに、いまだに受験の延長みたいなこと言っていると思ってる。」
B「なんだと! お前こそ…」

妄想ですから、この後二人がどうなったのかはわかりません。果たして二人は希望の学科に入れたのでしょうか。そして、二年生以降の勉強についていけたのでしょうか。二人の考えはどちらも理解できますし、簡単には答えが出ない問題ですね。私個人はどちらが正しいと思うか、ですか? そうですね…。Bの考えだと大学の勉強はつまらないだろうな、と思います。でもそう思うのは、私が当事者の学生じゃないからかもしれませんね。

(須田 裕介)

☆ラーサポ ベストラーナーシリーズ☆

ラーサポを何度も利用し、かつ優秀な成績を修めた学生を“ラーサポ ベストラーナー”と称し、勉強への取り組み方や進路決定にまつわる紆余曲折などを綴って頂きます。

今回のベストラーナーは、学習サポートを最も活用された学生の1人で、入学当初からしっかりと目標を持ち希望の学部学科へ移行を果たした加藤美蘭さんです。

「1年次の経験談と1年生へのアドバイス」

理学部生物科学科2年 加藤 美蘭

私は総合入試理系で北海道大学に入学しました。ここでは私が1年次で経験したことと、それを踏まえて主に総合入試で入学された1年生の皆さんに向けて履修や進路選択に関するアドバイスをお届けしたいと思います。

私は理学部生物科学科生物学専修分野に移行することを目標としていました。農学部や薬学部ほど高い移行点は必要ではありませんでしたが、確実に移行するために1年生の間は勉強を最優先に頑張りました。まず初めに私が実践した勉強への取り組み方について紹介します。私は物理学、化学、線形代数学、微分積分学の学習には教科書やレポート課題などを使ってなるべく復習するようにしました。また、授業を聞いて理解できなかったところや問題を解いていて分からなかったところは、自分が何を理解していないのかをはっきりさせた上でラーニングサポート室で質問しました。大学では学生の理解度に関係なく授業が進むことが多くありますが、私は復習などを継続的に行うことで難しい授業でも何とかついていくことができたと思っています。予習や復習を継続することは大変なこともかもしれませんが、続けていれば後で必ずやっけて良かったと思う時が来るので、1年生の皆さんには短時間でも予習・復習をすることをお勧めします。

次に授業の履修についてお伝えします。私の場合は、1学期に上限単位数ま

で授業を取ることで2学期に少し余裕が持てるようにしました。そして、2学期では履修する授業の数を少し減らし、各科目の勉強に時間をかけて質の高い学習に努めました。その結果、期末試験が重なる忙しい時期に勉強の負担を減らすことができたので良かったと思っています。また、私はレポートよりも期末試験による評価の方が良いと思い、レポートではなく期末試験を実施する授業を中心に選択しました。しかし、結果的に色々な授業の期末試験が同時期に集中し試験対応がとても困難になってしまったので、期末試験だけで評価する授業ばかりをとることはあまりお勧めしません。

さらに、全学教育科目の中には単位が楽に取れる授業がありますが、自分が興味を持つ内容でなければ簡単に単位が取れても授業を受けることが苦痛になってしまいます。私は楽に単位が取れると言われている授業を選ぶことはせずに、多少評価が厳しくても興味のある授業を選ぶようにしました。内容を優先して授業選択を意識することで自分の好きな学問を学ぶことができ、非常に良かったと思っています。

最後に進路選択についてお伝えします。最初に述べた通り、私は理学部生物科学科生物学専修分野に移行することを目標にしていたのですが、1学期が終わった段階で自分が思っていた移行点よりも良かったので、比較的移行



点の高い農学部生物資源科学科も視野に入れるようになりました。そして2学期中に、それぞれの学科の先生方にお話しを伺ったり、学科のホームページで情報収集を行うなどして2年次の勉強内容を十分に調べました。その上で、最終的に当初の希望していた学科に移行することを決意しました。実際に大学で学びはじめると、私のように希望する学部学科の対象が広がったり、希望していた学部学科の印象が変わったりすることがあると思います。総合入試で入学した皆さんには、大学に入学してから自分の興味のある学部学科に移行できるという総合入試の特徴を活かして、後悔のない進路選択をしてほしいと思います。

現在私は自分の希望先の学科で充実した大学生活を送ることができています。もちろん自分が希望した学科に移行できたからといって学ぶことすべてが好きな分野であるわけではありません。しかし、自分が興味を持っている分野をより深く専門的に学ぶことができ、本当に良かったと思っています。皆さんが本当に興味のある分野を学べる学部学科に移行を果たし、充実した大学生活を送れるように願っています。希望通りの移行が果たせられるように2学期も頑張ってください。

編集後記

2学期がスタートしました。1年次の学生さんの中には大学生活を送るうちにもしかすると興味の対象が変わったり、新たに勉強したいことが見つかったという人がいるかもしれません。その場合、2学期の履修計画を練り直す必要がしばしばあります。LSOでは学生さんの希望に応じて進路・履修相談に対応し、最適な履修計画を提案していますので、分からない方や不安に感じられる方はいつでもLSOまでお越しください。(秋山永治)



ラーニングサポート室

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 電話:011-706-7526 E-mail:lso@high.hokudai.ac.jp
北海道大学高等教育推進機構2階 URL:https://lso.high.hokudai.ac.jp/

次号は12月発行予定です